

令和 2 年 版

消 防 年 報

第 6 5 号

瀬 戸 市 消 防 本 部

はじめに

この年報は、瀬戸市消防本部における消防力の現状と、令和2年4月1日現在における各種統計を、今後の消防行政の効率的な運営と消防力の強化に資するとともに、消防事情を一般に紹介することを目的に収録いたしました。

消防・防災関係機関の皆様はもとより、広くあらゆる方面でご活用いただき、消防行政により一層のご理解とご協力をいただければ幸いに存じます。

令和2年8月

瀬戸市消防本部

一 目 統 計




令和2年4月1日現在

面積・人口等 自然環境	面積	人口	世帯	気象(R1年中) P51
				
	111.40 km ²	129,410 人	56,666 世帯	年平均気温 16.4℃ 年平均湿度 68.2 % 年間降水量 1,517 mm

消 防 予 算 構 成 人 員	消防予算 P1	署所数 P5	職員数 P6	団員数 P7
				
	14億2,784万7千円 市民1人当たり 11,034円	消防本部 1 消 防 署 1 分 署 2	144 人 (内女性 5 人)	256 人 (内女性 20 人)

消 防 車 両 水 利	ポンプ車等 P5	特殊車両等 P5	救急車 P5	水利 P16
				
	タンク車 3 台 ポンプ車 4 台	はしご車等 14 台	高規格救急車 5 台	消火栓 2,944 基 防火水槽等 565 基 (その他の水利を含む)

災 害 件 数 (令和元年中)	火災 P29	主な火災原因 P30	救急 P38・44	救助 P46・47
				
	38 件 出火率 2.9 件/万人	放火・放火の疑い 7 件 たばこ 5 件 取 灰 3 件	出動件数 5,655 件 (15.5 件/日) 搬送人員 5,335 人 現場到着時間 6.7 分	出動件数 82 件 救助人員 35 人

予 防 消防関係団体	防火対象物 P17	査察実施率 P19	危険物施設 P22	消防関係団体 P24-27
				危険物安全協会 309 会 員 自衛消防連絡協議会 18 隊 婦人(女性)防火クラブ 10 クラブ 少年消防クラブ 25 クラブ 瀬戸防火防災協会連合会 20 連 区 自警団 5 団 防災会 2 会
	4,525 件	21.1%	製造所 3 件 貯蔵所 214 件 取扱所 101 件	

令和元年実績値

指標	単位	目標値	実績値
出火率	件	3.5	2.9

※ 出火率とは、人口1万人当たりの火災件数をいう。

(P 2 9 参照)

※ 実績値は、令和元年中の数値

指標	単位	目標値	実績値
救命率	%	42.7	0

※ 救命率とは、目撃のある突然心肺停止及び除細動が必要な心電図波形（V f ・脈のないVT）である救急患者のうち、1か月後に社会復帰できた割合をいう。

(P 4 4 参照)

※ 実績値は、令和元年中の数値

指標（年度）	単位	目標値	実績値
消防団員数	人	265	256

※ 実績値は、令和2年4月1日現在

(P 7 参照)

指標（年度）	単位	目標値	実績値
消防水利の充足率	%	98.6	98.7

※ 実績値は、令和2年4月1日現在

(P 1 6 参照)

指標	単位	目標値	実績値
住宅火災における 損害額	千円	46,052	41,936

※ 実績値は令和元年中の数値

(P 3 6 参照)


指標	単位	目標値	実績値
住宅用火災警報器の 適合設置率	%	32	48.5

※ 実績値は、令和元年6月1日現在

令和元年度のトピックス


1 瀬戸市住宅用火災警報器適正配置促進事業を開始

住宅用火災警報器の適正な設置を促進するため、消防職員等による瀬戸市内すべての住宅への訪問指導を開始しました。この事業を「瀬戸市住宅用火災警報器適正配置促進事業」と位置付け、令和元年度から5年計画で、瀬戸市内すべての住宅を訪問することとしました。



住宅用火災警報器

瀬戸 住宅用火災警報器 検索

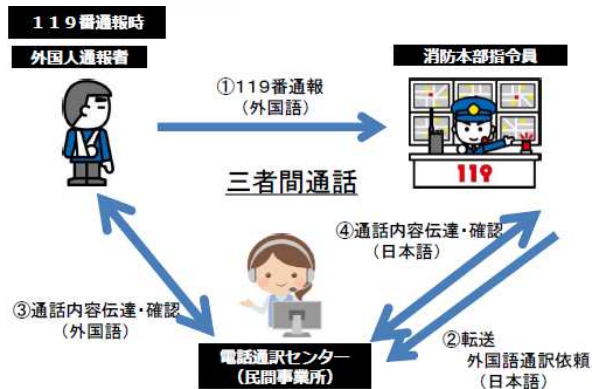


住宅用火災警報器の設置は、
条例で義務付けられています。

瀬戸市消防本部

2 119番通報時、三者間同時通訳システムを運用開始

通訳センターを介して外国語に対応するシステムを平成31年4月から導入しました。このシステムは、日本語でのコミュニケーションが困難な外国人からの通報に対し、通報者、通訳者、119番を受信するオペレーターとの三者が、同時に話すことができるもので、18カ国語に対応し24時間365日体制で稼働します。



3 消防団応援サポーターに漫画家の中島みるくさんを任命

瀬戸市出身で漫画家としてご活躍されている中島みるくさんを瀬戸市消防団応援サポーターとして任命しました。消防団のPR及び消防団員確保を目的にキャラクターをデザインして頂き、消防団車両にラッピングを施しました。

瀬戸市消防団応援サポーターとは、各分野で活躍されている瀬戸市にゆかりのある方に、本市消防団のPR活動にご協力いただくため市長が任命するものです。



4 西陵連区連合自治会無火災1,000日達成

西陵連区が1,000日間無火災を達成され、感謝状を贈呈しました。無火災期間は平成29年3月5日から令和元年11月29日までの1,000日間です。

瀬戸市では、1,000日間火災が発生しなかった自治会に対し、市長から特別感謝状を贈呈しています。



5 第24回全国女性消防操法大会に出場し、8位入賞！！

令和元年11月13日(水)、横浜市の赤レンガ倉庫イベント広場で開催された第24回全国女性消防操法大会において瀬戸市女性分団が出場し、優良賞(47都道府県中8位)を受賞しました。

全国女性消防操法大会は、2年に1回開催され、各都道府県を代表する女性消防隊が小型の消防ポンプの取り扱い速さと正確さを1チーム7人で競うものです。



6 道泉分団車両を更新しました

平成10年から運用していた道泉分団車を最新の車両に更新しました。

新型車両は、電子制御の消防ポンプのほか、LED赤色警光灯、照明資器材、ホース延長資器材等を装備しており、災害時はもちろんのこと、平時における消防団活動においても迅速で安全な活動を可能にした最新鋭の車両です。



目 次

【第1編】消防情勢（P1～10）

・ 5年間の市当初予算等と消防費	1
・ 令和2年度一般会計当初予算額	1
・ 令和2年度消防費の市民負担額	1
・ 消防本部・消防署・消防団組織図	2
・ 消防本部消防課の事務分掌	3
・ 消防署の事務分掌	4
・ 消防力の整備指針と現有消防力	5
・ 消防職員数	6
・ 消防団員数	7
・ 消防職員・団員数の推移	7
・ 消防職員・団員の平均年齢の推移	7
・ 消防職員派遣教養科目別実施状況	8
・ 消防職員研修実施状況	8
・ 消防職員・団員公務災害等発生状況	8
・ 消防本部車両運用状況	9
・ 消防団活動状況	10

【第2編】消防施設（P11～16）

・ 消防庁舎等設置状況	11
・ 消防車両等配備状況	12・13
・ 主な消防機器保有状況	14
・ 水防用資機材備蓄状況	15
・ 消防水利設置状況	16

【第3編】予防（P17～28）

・ 連区別防火対象物状況	17
・ 査察実施周期	18・19
・ 査察実施率の推移	19
・ 中高層建築物・地階用途別状況	20
・ 防火管理者選任状況	21
・ 防火管理講習実施状況	21
・ 危険物施設等連区別設置状況	22
・ 危険物施設に関する申請等の件数	22
・ 危険物施設等の10年間の推移	23
・ 瀬戸防火防災協会連合会	24
・ 街頭消火器設置整備事業	24
・ 瀬戸市危険物安全協会	25
・ 瀬戸市自衛消防連絡協議会	25
・ 自警団	25
・ 瀬戸市婦人消防隊連絡協議会	26
・ 瀬戸市少年消防クラブ連絡協議会	26
・ 瀬戸市幼年消防クラブ	27
・ 防災会	27
・ 安心・安全トピックス（わんわん消防隊、救急安心たまご）	28

【第4編】火災統計（P 29～37）

・令和元年中の火災発生状況と前年との比較	29
・原因別・用途別火災状況	30
・初期消火実施状況	30
・出火原因別（発火源・経過・着火物）火災発生件数	31
・署所別・連区別火災状況	32
・曜日別・月別火災状況	33
・天候別火災状況	33
・時間別火災状況	34
・10年間の火災状況	35
・10年間の出火件数と住宅火災件数及び損害額の推移	35
・10年間の住宅火災の状況	36
・10年間の住宅火災における出火原因別件数	36
・10年間の住宅火災における時間別死傷者数	37
・10年間の住宅火災における年齢別死傷者数	37

【第5編】救急・救助統計（P 38～47）

・事故種別救急出動件数及び搬送人員	38
・署所別救急出動件数	39
・連区別の老年人口率と救急搬送率	39
・曜日別・月別救急出動件数	40
・時間別救急出動件数	40
・傷病程度別搬送人員	41
・年齢区分別搬送人員	41
・急病にかかる疾病分類別搬送人員調	42
・事故種別医療機関別搬送人員調	42
・救急隊員の行った応急処置状況	43
・応急手当普及啓発実施状況	43
・救命率の推移	44
・バイスタンダーCPR実施状況	44
・AEDステーション認定事業所数	44
・10年間の現場到着平均所要時間の推移	44
・10年間の救急出動件数	45
・急病・交通・一般負傷の出動件数10年間の推移	45
・事故別救助出動状況	46
・連区別救助出動件数	46
・発生場所別救助人員	47
・10年間の救助出動件数	47

【第6編】通信・気象（P 48～51）

・消防指令センターの主な施設状況	48
・月別119番受信状況（受信時の種別）	48
・無線施設状況	49・50
・月別気象状況	51
・天候別日数調・月別気温状況・月別湿度状況	51

【第7編】資料（P 52～57）

・消防本部の沿革	52～56
・消防相互応援協定	57

市 勢 概 要

瀬戸市は、名古屋市の北東約20kmに位置し、周囲を標高100～300mの小高い山々に囲まれ、気候も温暖なまちで、「せともの（瀬戸物）」という言葉が、やきものの代名詞として広く知られています。

良質で豊富な陶土に恵まれたこの地で、先人たちは新しい技術や文化を柔軟に取り入れ、「せとものまち」を発展させてきました。

長年受け継がれてきたやきものづくりの卓越した技は、多種多様なやきものづくりに繋がり、陶器と磁器が共存する稀有な産地であるだけでなく、ノベルティ（置物・装飾品）、ファインセラミックスなどが生産され、今も新しいものづくりが続けられています。

年別	項目	変 遷	面 積 (km ²)	人 口 (人)	世 帯
昭和 4 年	市 制 施 行		28.01	31,276	6,916
昭和26年	水野村合併		50.67	54,779	11,670
昭和30年	幡山村合併		71.36	64,681	13,588
昭和34年	品野町合併		110.34	79,449	16,636
令和 2 年	4月1日現在		111.40	129,410	56,666

